

わくわくとしょかん

第142号(2017年夏号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ 531-6551

なつやすみおたのしみかい



かつ 日にち
7月22日 土曜日
 じかん…2じ～3じ30ぷん
 ばしょ…3かい かいぎしつ

しょうがくせい
 4さい～小学生のおともだち
 みんなであそびにきてね!

☆ プログラム ☆



おおがたかみ
 大型紙しばい「ねこのくにのおきやくさま」
 ブックトーク「うみにいこう!」
 こうさく「うみいろのスーパーボールをつくろう!」



※駐車場には限りがあります。
 公共交通機関をご利用ください。



おはなしかいのおしらせ



どようびのおはなしかい
 まいしゅう 土曜日
 1かい じどうしつ
 ごご2じから
 しょうがくせい
 4さい～小学生

おひざにだっこのおはなしかい
 まいつき だい3 もくようび
 1かい じどうしつ
 ごぜん10じ30ぷんから
 ほごしゅ
 3さいまでのおこさんと保護者

ファミリー映画会

まいつき だい2にちようび
 3かい かいぎしつ
 ごご2じから

としょかんカレンダー



7月



8月



9月



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

…福島市立図書館のお休みです。

…子どもライブラリーのお休みです。

※学習センター図書室については、各学習センターにお問い合わせください。



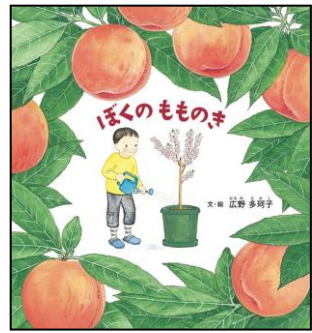
あたらしいほん



E (えほん)

Y (よみもの)

『ぼくのものき』(E ヒロノ)
広野 多珂子/文・絵 福音館書店



ぼくがマンションのベランダでそだてることにしたのは、ちいさなものき。みずをたっぷりあげたり、はなのかふんをめしべにくっつけたり……。ももってどんなふうになつたろう？ おいしいももはいつできるかな？

『しんごうきピコリ』(E ザキヤ)
ザ・キャビンカンパニー/作・絵 あかね書房



しんごうきがピコリ！ あおになると、くるまは「すすめ」。ピコリ！ あかになると、くるまは「とまれ」。ピコリ！ こんどはピンクになりました。さあ、くるまはどうするのかな？ ちょっとおかしなしんごうきの絵本です。

B(そのた)

『里山のヤマムユ ヤママユが紡ぐ緑の宝物』
(B48 シンカ) 新開 孝/写真・文
小学館クリエイティブ



ヤマムユは里山の雑木林にすんでいるガのなかま。『天蚕』ともよばれる野生のカイコで、そのまゆからは美しい緑色の絹糸がとれます。昔からつづいてきた、里山の人の暮らしとヤマムユとのつながりを、写真で紹介します。

『ヒルダさんと3匹のこざる』(E クラク)
クエンティン・ブレイク/文 エマ・チチェスター・クラーク/絵
むらおか みえ/訳 徳間書店



ヒルダさんとくらす3匹のこざるはいたずら好き。ぼうしの羽をむしたり、スープをひっくり返したり、家の中はいつもめちゃくちゃ。ところがある日、ヒルダさんが帰ると部屋がきれいなまま。こざるたちの姿もみえませんが、3匹はどこにいったのでしょうか？

『重力って…』(E チンジ)
ジェイソン・チン/作 竹内 薫/訳 偕成社



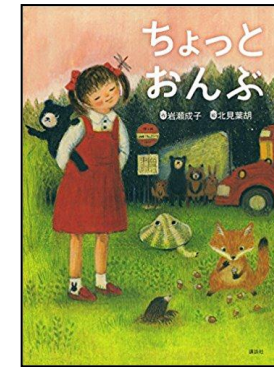
重力ってしてる？ いろーんなものをちきゅうにおとしちゃうすごい力。もし重力がなかったらつきはちきゅうからはなれていくし、ちきゅうとたいようも…?! どんなものにもはたらくふしぎな力、重力のことがたのしくわかります。

『ワクワクお花屋さん気分』(B79 コンノ)
今野 政代/著 六耀社



みぢかにある花や葉っぱでかわいいお部屋のかざりやすくてきなプレゼントを作ってみましょう。リボンをまいたり、きれいな色紙でつつんだり、いろいろなフラワーアレンジが楽しめる本です。

『ちょっとおんぶ』(Y913 イワセ)
岩瀬 成子/作 北見 葉胡/絵 講談社



あるばん、つきちゃんがにわでフクロウのこえをきいていると、木のうしろから「ねえ。」とこえがします。でてきたのはクマの子。「ぼく、つかれちゃったから。ちょっとおんぶ。」というクマの子をおんぶして、つきちゃんはやるのさんぽにでかけました。

『宿題ロボット、ひろったんですけど』
(Y94 クリス)

トーマス・クリストス/作 もりうち すみこ/訳
柴田 純与/絵 あかね書房



ある日の放課後、9歳の男の子のリヌスは、研究所から逃げてきた世界一かしこいロボットのオルビーを拾います。ところが、何でもできるオルビーは、泥棒たちにだまされて誘拐されてしまいます。リヌスはオルビーを守ることができるのでしょうか？

『香菜とななつの秘密』(Y913 フクダ)
福田 隆浩/著 講談社



学校や通学路には、ささやかだけれどハッとするような秘密がひそんでい。人前で話すことが苦手だけれど、聞き上手で鋭い観察眼を持つ香菜が、友だちといっしょに様々な謎を解決します。あなたはいつ解けるかな？

まさか！？のほん



『たとえば、せかいがゴロゴロだったら』（E タカバ）
高島 那生／作 講談社

ゴロゴロ島では、みんなゴロゴロしながら生活しています。電車にのるときも、勉強するときも、サッカーをするときもゴロゴロゴロゴロ。そんなゴロゴロ島の人たちは、ゆっくり寝るためにちょっと変わった“ユックリーノふとん”を使っている…。

『犬の目』（E イトウ）

桂 米平／文 イトウ ひろし／絵 フェリシモ

目がズキズキ痛むため、目医者をつねたある男。さっそくみてもらうと、目がくさりかけていると言われてしまいました。しかも治すためには、目玉をくりぬかなければいけないとのこと。男の目はどうなってしまうのでしょうか？
楽しい上方落語の絵本です。



『パンダの手には、かくされたひみつがあった！』（E キタム）
山本 省三／文 喜多村 武／絵 遠藤 秀紀／監修 くもん出版

パンダはクマのなかまですが、クマとちがって手で物をにぎることができます。しかしパンダとクマの手をくらべてみても、大きなちがいはありません。なぜパンダは人間のように竹をにぎって食べることができるのか、そのひみつをとき明かしたのはひとりの動物学者でした。

『ぺちゃんこスタンレー』（Y93 ブラウ）

ジェフ・ブラウン／文 トミー・ウンゲラー／絵
さくま ゆみこ／訳 あすなる書房

スタンレーは、頭のいいごくふうの男の子。だけどみんなとちがうのは、体がぺちゃんこになってしまったこと！ はじめはとまどったスタンレーですが、封筒に入って友だちのところへ行ったり、たこになって空を飛んだりぺちゃんこのほうが便利なこともいろいろありました。

